

# ロボットによる認知症教育の実践

小学生が認知症の人に対し尊厳を持った接し方を学びます！

## 教材

### ①スライド

知識の理解  
→ 「なるほど」

### ②ロボット

一緒に学ぶ仲間  
情動に働きかける  
→ 「やってみようかな」

### ③クリッカー

自分の意見を言いやすい  
→ 「他の人はどうかな」

## 工夫点

### ①進行役 兼 まとめ役

- ・ ロボットの説明への興味
- ・ 児童の集中力を維持

### ②感情を理解する

- ・ 良い対応と悪い対応を学ぶ
- ・ 尊厳を保つ対応を考える

分類	声かけ例	Pepperの反応	Pepperの感情
類推 (相手の気持ちを知らうとする)	どうしてお風呂に入りたくないの?	ここの風呂は狭すぎる!	怒り
寄り添い (一緒にしようと誘う)	(1)一緒にお風呂に入ろう (2)一緒に銭湯に行こう (正解)	(1)風呂が狭くて入りたくない (2)よし、行こう! (ゴール)	怒り 嬉しい
説明	お風呂に入らないと(汚い)臭いよ、臭く(汚く)ない!	臭い(汚い)とは失礼な! 臭く(汚く)ない!	嬉しい 悲しい 混乱
無理強い	お風呂に入ってよ!	いやだ!	怒り

### ③寸劇

- ・ 背後知識への興味誘導
- ・ 自由な発想を引き出す

## 実践事例

### 「A市小学校におけるキッズサポーター養成講座」

複数市の小学校でロボットを使って認知症の学習を行いました！

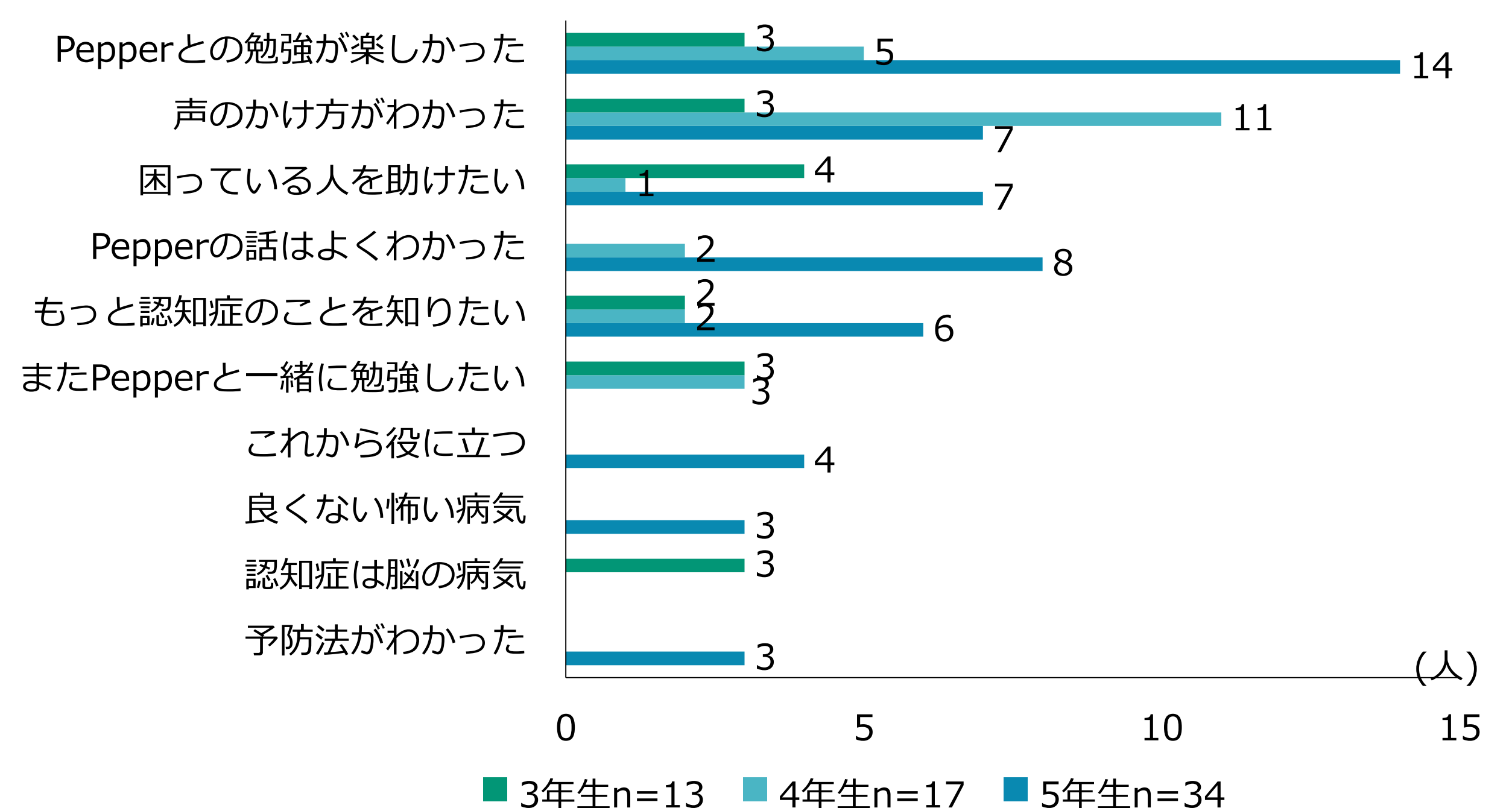


図 A市小学校におけるキッズサポーター養成講座後の感想